

**製品名: BAGE4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07447**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | IHC, ICC/IF, ELISA                                 |
| 反応性    | ヒト、ラット、マウス   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

**抗原情報**

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | BAGE4  |
| 別名           | BAGE4; MLL3P; B melanoma antigen 4; Cancer/testis antigen 2.4; CT2.4 |
| 遺伝子 ID       | 85317.0  |
| SwissProt ID | Q86Y28   |
| 免疫原          | 抗血清はヒト BAGE4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 9-58                         |

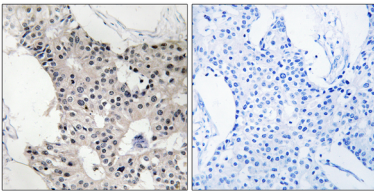
**背景**

機能: 不明。腫瘍抗原をコードする候補遺伝子。、その他: 祖先 BAGE 遺伝子は、MLL3 遺伝子の近傍動原体リシャッフリングによって生成されました。BAGE ファミリーは、近傍動原体移動および / またはアクロセントリック交換によって拡大しました。BAGE ファ

ミリーは、13番染色体と21番染色体の近傍動原体領域にマッピングされる発現遺伝子と、9番、13番、18番、21番染色体を含むいくつかの染色体の近傍動原体領域に散在する非発現遺伝子断片で構成されています。類似性: BAGEファミリーに属します。組織特異性: 精巣以外の正常組織では発現しません。メラノーマの22%、膀胱癌、肺癌で発現します。組織特異性: 精巣以外の正常組織では発現しません。メラノーマ、膀胱癌、肺癌で発現する。機能: 不明。腫瘍抗原をコードする候補遺伝子。その他: 祖先BAGE遺伝子は、MLL3遺伝子の近傍セントロメア領域におけるリシャッフリングによって生成された。BAGEファミリーは、近傍セントロメア領域の移動および/または末端セントロメア領域における交換によって拡大した。BAGEファミリーは、13番染色体と21番染色体の近傍セントロメア領域にマッピングされる発現遺伝子と、9番染色体、13番染色体、18番染色体、21番染色体を含む複数の染色体の近傍セントロメア領域に散在する非発現遺伝子断片から構成される。類似性: BAGEファミリーに属する。組織特異性: 精巣を除く正常組織では発現しない。メラノーマの22%、膀胱癌、肺癌で発現する。組織特異性: 精巣を除く正常組織では発現しない。メラノーマ、膀胱癌、肺癌で発現する。

## 研究分野

## 画像データ



BAGE4抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。